

平成 14 年
 (2002)

参考資料 3

患者調査の概況

目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	3
1 推計患者数	
(1) 施設の種類・性・年齢階級別	3
(2) 傷病分類別	5
ア 入院患者	5
イ 外来患者	6
(3) 病床の種類別	7
(4) 在宅医療の状況	8
(5) 紹介の状況	9
(6) 都道府県別にみた推計流入・流出患者の状況	10
2 受療率	
(1) 性・年齢階級別	11
(2) 傷病分類別	13
(3) 都道府県別	14
3 入院患者の状況	
(1) 重症度の状況	15
(2) 心身の状況	15
4 退院患者の状況	
(1) 退院患者平均在院日数	16
ア 施設の種類・年齢階級別	16
イ 傷病分類別	17
ウ 都道府県別	18
(2) 在院期間	19
(3) 手術前在院日数・手術後在院日数	20
(4) 入院前の場所・退院後の行き先	21
(5) 退院の事由(転帰)	22
5 主要な傷病の総患者数	23
統計表 1～13	25
参考 受療率の算出に用いた人口	39

平成 14 年患者調査の結果は厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス (<http://www.mhlw.go.jp/>)

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、病院及び診療所（以下「医療施設」という。）を利用する患者について、その傷病状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象及び客体

全国の医療施設を利用する患者を対象とし、層化無作為により抽出した医療施設における患者を客体とした。

	施設数	抽出率	客 体 数	
			入院・外来	退 院
病 院	6,451	入院 7/10 , 外来 3.3/10	197.3 万人	82.8 万人
一般診療所	6,037	7/100	24.2	1.0
歯科診療所	1,274	2/100	2.3	

注： 歯科診療所は、外来のみの調査である。

3 調査の期日

平成14年10月8日～10日（火～木）の3日間のうち医療施設ごとに指定した1日とした。
なお、退院患者については、平成14年9月1日～30日までの1か月間とした。

4 調査事項

性別、出生年月日、患者の住所、入院・外来の種別、受療の状況等

5 調査の方法及び系統

医療施設の管理者が記入する方式によった。

厚生労働省 ———— 都道府県 ———— 保健所 ———— 医療施設
└── 保健所設置市 ──┘
特 別 区

6 結果の集計

厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

なお、医療施設に関する情報の一部は平成14年医療施設静態調査の結果を用いた。

7 用語の説明

(1) 推計患者数

調査日当日に、病院、一般診療所、歯科診療所で受療した患者の推計数

(2) 推計退院患者数

調査対象期間中（平成14年9月1日～30日）に病院、一般診療所を退院した患者の推計数

(3) 退院患者平均在院日数

調査対象期間中（平成14年9月1日～30日）に退院した患者の在院日数の平均である。

(4) 受療率

推計患者数を人口10万対であらわした数

受療率（人口10万対）＝推計患者数/推計人口×100,000

(5) 総患者数（傷病別推計）

調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設で受療していない者も含む。）の数を次の算式により推計したものである。

総患者数＝入院患者数＋初診外来患者数＋再来外来患者数×平均診療間隔×調整係数（6/7）

(6) 病床の種類

精神病床

精神疾患を有する者を入院させるための病床。

老人性痴呆疾患療養病床

精神病床のうち、精神症状や問題行動を有し慢性期に至った老人性痴呆疾患患者に対し長期的に治療を行う病棟で、「厚生労働大臣が定める施設基準」に適合しているものとして都道府県知事に届け出られたもの。

感染症病床

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号)に規定する一類感染症、二類感染症及び新感染症の患者を入院させるための病床。

結核病床

結核の患者を入院させるための病床。

療養病床(療養型病床群を含む)

医療法に定める「療養病床」及び「経過的古療養型病床群」。

老人病床

医療法に定める「経過的古その他の病床」のうち、「特例許可老人病床」または「特例許可以外の老人病床」。

一般病床等

医療法に定める「一般病床」及び「経過的古その他の病床」(「経過的古療養型病床群」及び「老人病床」を除いたもの。)

(経過的古その他の病床)

旧医療法第7条第2項に規定する「その他の病床」であって、「医療法等の一部を改正する法律」の施行後、療養病床又は一般病床のいずれかに移行する届出をしていない病床(平成15年8月までの経過措置)。

(経過的古療養型病床群)

「経過的古その他の病床」のうち、主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための一群の病床(平成15年8月までの経過措置)。

8 利用上の注意

(1) 本調査における傷病の分類にあたっては、世界保健機関(WHO)の「国際疾病、傷害および死因統計分類(ICD)」に基づき分類している。なお、平成8年の本調査から「第10回修正国際疾病、傷害および死因統計分類(ICD-10)」を適用している。

(2) 表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明又は計数を表章する事が不適当な場合	...
統計項目のありえない場合	.
推計値、比率等でまるめた結果が表章すべき最下位の桁の1に達しない場合	0又は0.0

(3) 掲載の数値は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合もある。

(4) 人口10万対算出のため用いた人口は、総務省統計局「平成14年10月1日現在推計人口(総人口127,435千人)」である。

(5) 患者数は、主傷病についてみたものである。

結 果 の 概 要

1 推計患者数

調査日に、全国の医療施設（病院、一般診療所及び歯科診療所）で受療した推計患者数は、入院145万1千人、外来647万8千人である。

(1) 施設の種類の性別・年齢階級別

入院患者145万1千人について施設の種類の別みると、病院137万8千人（入院患者の94.9%）、一般診療所7万3千人（同5.1%）となっている。性別にみると、男67万1千人（同46.2%）、女78万人（同53.8%）で、年齢階級別にみると65歳以上が87万6千人（同60.4%）となっている。

外来患者647万8千人について施設の種類の別みると、病院195万3千人（外来患者の30.1%）、一般診療所337万8千人（同52.1%）、歯科診療所114万8千人（同17.7%）となっている。性別にみると、男273万5千人（同42.2%）、女374万4千人（同57.8%）で、年齢階級別にみると、65歳以上が271万3千人（同41.9%）となっている。（表1）

表1 年齢階級別にみた施設の種類の推計患者数

（単位：千人）

平成14年10月

	入 院			外 来			
	総 数	病 院	一 般 診 療 所	総 数	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所
総 数	1 451.0 (1 482.6)	1 377.6 (1 401.3)	73.4 (81.3)	6 478.0 (6 835.9)	1 952.5 (2 132.7)	3 377.6 (3 553.6)	1 147.9 (1 149.7)
男	671.0	645.7	25.3	2 734.5	884.1	1 341.9	508.5
女	780.0	731.9	48.1	3 743.5	1 068.4	2 035.7	639.4
0 歳	12.6	11.8	0.8	64.2	19.3	44.8	0.1
1 ～ 4	9.8	9.6	0.1	252.3	53.2	179.1	20.0
5 ～ 9	7.4	7.2	0.2	198.9	36.9	112.4	49.6
10 ～ 14	7.2	7.1	0.1	119.7	26.2	69.7	23.8
15 ～ 19	11.4	11.0	0.5	122.3	29.8	65.1	27.3
20 ～ 24	19.7	17.7	2.0	174.0	46.1	81.0	46.9
25 ～ 29	32.9	28.6	4.3	244.3	69.3	112.9	62.1
30 ～ 34	38.2	33.6	4.6	277.9	78.4	126.3	73.2
35 ～ 39	34.4	32.4	2.0	246.8	71.7	114.1	61.0
40 ～ 44	37.4	36.3	1.1	242.6	70.9	107.0	64.7
45 ～ 49	52.8	51.4	1.4	285.3	88.2	123.3	73.8
50 ～ 54	94.4	91.7	2.7	463.2	144.9	208.6	109.7
55 ～ 59	96.8	93.7	3.1	481.6	151.4	219.9	110.3
60 ～ 64	117.0	113.3	3.7	577.7	183.8	283.9	109.9
65 ～ 69	140.8	135.7	5.2	699.4	226.7	358.4	114.4
70 ～ 74	164.0	156.6	7.3	754.0	246.1	417.5	90.5
75 ～ 79	171.3	162.6	8.7	620.0	203.2	354.8	61.9
80 ～ 84	158.5	149.0	9.5	371.6	120.0	222.9	28.7
85 ～ 89	137.3	127.9	9.5	190.6	59.2	118.4	13.0
90歳以上	103.7	97.3	6.4	77.1	22.5	50.0	4.6
不 詳	3.3	3.1	0.2	14.7	4.8	7.7	2.3
(再 掲)							
65歳以上	875.7	829.1	46.5	2 712.8	877.6	1 521.9	313.2
70歳以上	734.8	693.5	41.4	2 013.3	651.0	1 163.6	198.8
75歳以上	570.9	536.8	34.0	1 259.3	404.9	746.1	108.3

注：（ ）内の数値は、平成11年の値である。

施設の種別別に年次推移をみると、入院では、病院は平成2年まで増加傾向にあり、平成5年には減少したものの、平成8年で再び増加し、平成11年からはほぼ横ばいである。一般診療所は、近年減少傾向にあったが、平成5年からはほぼ横ばいである。外来患者は近年増加傾向にあったが、平成11年に引き続き減少している。

年齢階級別にみると、入院では15～34歳及び35～64歳の減少傾向が継続し、65歳以上は、引き続き増加傾向にある。外来では0～14歳、15～34歳及び35～64歳の減少傾向が継続しており、65歳以上は平成8年までの増加傾向が、平成11年からはほぼ横ばいとなっている。(図1・2、統計表2・6)

図1 施設の種別別にみた推計患者数の年次推移

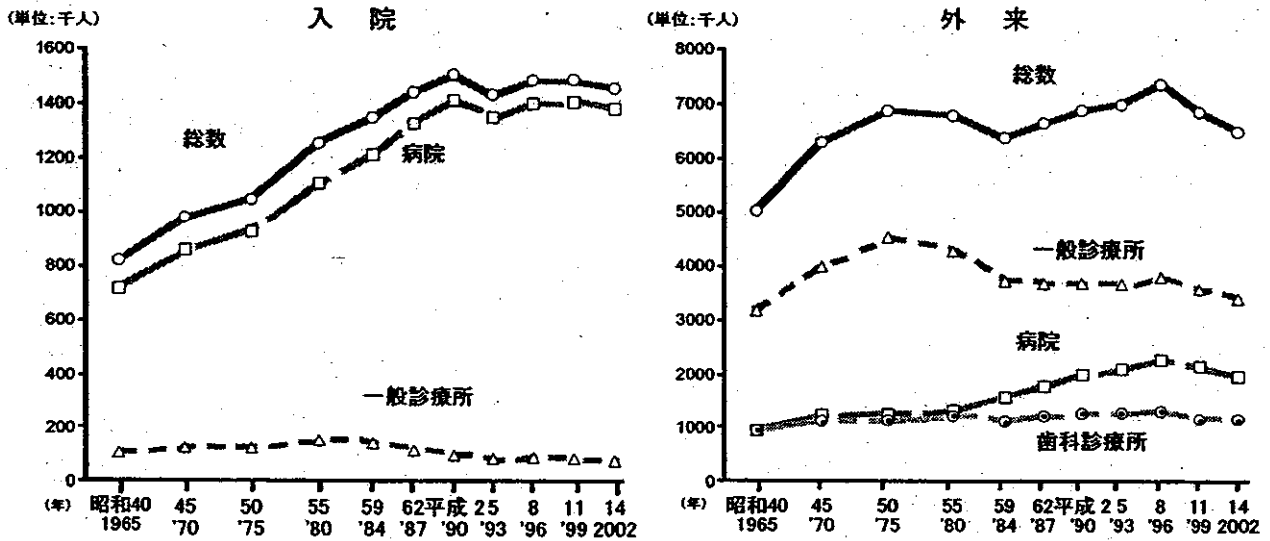
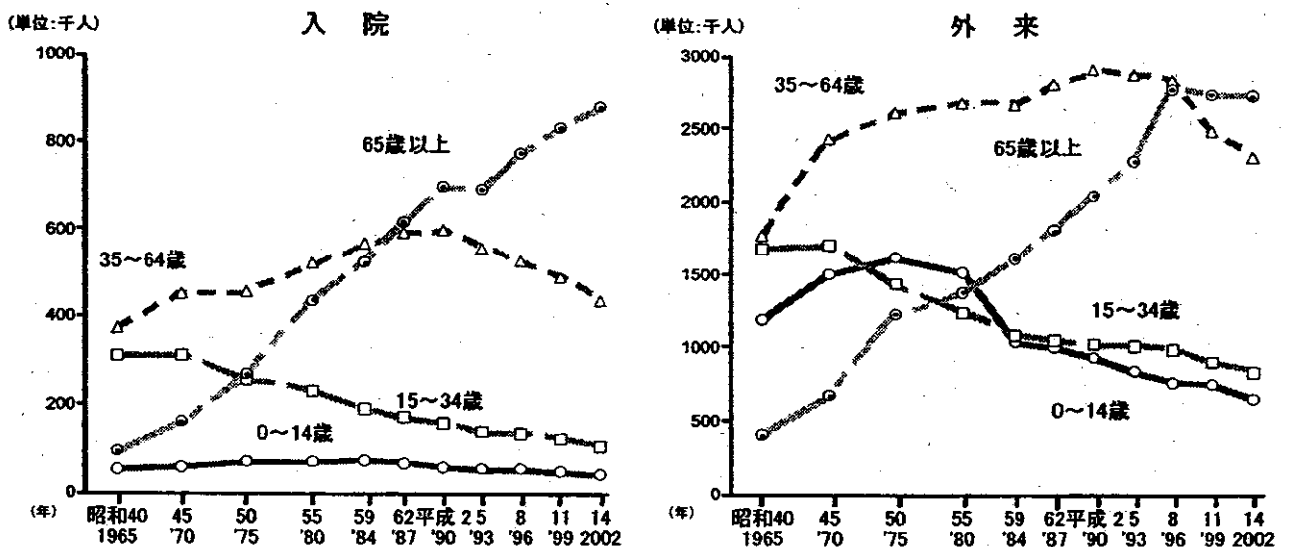


図2 年齢階級別にみた推計患者数の年次推移



(2) 傷病分類別

ア 入院患者

入院患者を傷病分類別にみると、「V 精神及び行動の障害」32万9千人（入院患者の22.7%）、「IX 循環器系の疾患」31万3千人（同21.6%）、「II 新生物」16万7千人（同11.5%）の順となっている。

病院では「V 精神及び行動の障害」32万6千人（病院入院患者の23.7%）、「IX 循環器系の疾患」29万9千人（同21.7%）、「II 新生物」16万4千人（同11.9%）の順となっている。

また、一般診療所では「IX 循環器系の疾患」1万4千人（一般診療所入院患者の19.2%）、「XX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」9千人（同12.8%）、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」8千人（同11.3%）の順となっている。（表2）

表2 傷病分類別にみた施設の種別推計入院患者数・構成割合

傷 病 分 類		推計患者数 (千人)			平成14年10月 構成割合 (%)		
		総 数	病 院	一 般 診 療 所	総 数	病 院	一 般 診 療 所
	総 数	1 451.0	1 377.6	73.4	100.0	100.0	100.0
I	感染症及び寄生虫症	31.6	30.3	1.3	2.2	2.2	1.8
	結核 (再掲)	8.4	8.4	0.1	0.6	0.6	0.1
	ウイルス肝炎 (再掲)	6.1	5.6	0.5	0.4	0.4	0.6
II	新生物	166.5	163.6	2.9	11.5	11.9	4.0
	胃の悪性新生物 (再掲)	20.0	19.6	0.3	1.4	1.4	0.5
	大腸の悪性新生物 (再掲)	18.5	18.2	0.3	1.3	1.3	0.4
	肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	10.9	10.7	0.3	0.8	0.8	0.3
	気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	19.0	18.8	0.2	1.3	1.4	0.3
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5.8	5.4	0.4	0.4	0.4	0.5
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	42.6	39.7	2.9	2.9	2.9	3.9
	糖尿病 (再掲)	34.1	31.6	2.5	2.4	2.3	3.5
V	精神及び行動の障害	328.8	326.2	2.5	22.7	23.7	3.5
	血管性及び詳細不明の痴呆 (再掲)	53.6	52.9	0.8	3.7	3.8	1.1
	精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害 (再掲)	203.2	202.9	0.3	14.0	14.7	0.4
VI	神経系の疾患	84.2	81.2	3.1	5.8	5.9	4.2
VII	眼及び付属器の疾患	14.7	12.2	2.5	1.0	0.9	3.3
VIII	耳及び乳突突起の疾患	3.3	3.0	0.3	0.2	0.2	0.4
IX	循環器系の疾患	312.9	298.8	14.1	21.6	21.7	19.2
	高血圧性疾患 (再掲)	13.7	11.5	2.2	0.9	0.8	3.0
	心疾患 (高血圧性のものを除く) (再掲)	59.4	56.4	3.0	4.1	4.1	4.1
	脳血管疾患 (再掲)	226.7	218.6	8.1	15.6	15.9	11.0
X	呼吸器系の疾患	72.0	68.4	3.6	5.0	5.0	4.9
	喘息 (再掲)	11.6	10.8	0.8	0.8	0.8	1.1
XI	消化器系の疾患	75.4	70.6	4.7	5.2	5.1	6.5
	歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	0.9	0.9	0.0	0.1	0.1	0.0
	食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	13.7	12.4	1.3	0.9	0.9	1.7
	肝疾患 (再掲)	15.1	13.9	1.2	1.0	1.0	1.6
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	8.6	8.3	0.3	0.6	0.6	0.4
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	70.6	62.3	8.3	4.9	4.5	11.3
XIV	泌尿器系の疾患	46.9	41.2	5.7	3.2	3.0	7.8
XV	妊娠、分娩及び産じょく	24.1	16.8	7.4	1.7	1.2	10.0
XVI	周産期に発生した病態	6.3	6.0	0.3	0.4	0.4	0.5
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	6.2	6.2	0.1	0.4	0.4	0.1
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21.3	20.5	0.8	1.5	1.5	1.0
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	118.6	109.2	9.4	8.2	7.9	12.8
XX I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10.4	7.6	2.8	0.7	0.6	3.8
	歯の補てつ (再掲)	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-

イ 外来患者

外来患者を傷病分類別にみると、「XI 消化器系の疾患」121万2千人(外来患者の18.7%)、「IX 循環器系の疾患」89万7千人(同13.8%)、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」88万3千人(同13.6%)の順となっている。

病院では「IX 循環器系の疾患」31万6千人(病院外来患者の16.2%)、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」24万5千人(同12.6%)、「X 呼吸器系の疾患」16万2千人(同8.3%)の順となっている。

また、一般診療所では「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」63万8千人(一般診療所外来患者の18.9%)、「IX 循環器系の疾患」58万2千人(同17.2%)、「X 呼吸器系の疾患」55万6千人(同16.5%)の順となっている。(表3)

表3 傷病分類別にみた施設の種別別推計外来患者数・構成割合

平成14年10月

傷病分類	推計患者数(千人)				構成割合(%)			
	総数	病院	一般診療所	歯科診療所	総数	病院	一般診療所	歯科診療所
総数	6 478.0	1 952.5	3 377.6	1 147.9	100.0	100.0	100.0	100.0
I 感染症及び寄生虫症	219.0	73.4	145.6	.	3.4	3.8	4.3	.
結核 (再掲)	4.0	3.1	1.0	.	0.1	0.2	0.0	.
ウイルス肝炎 (再掲)	80.5	34.2	46.3	.	1.2	1.8	1.4	.
II 新生物	180.0	146.6	33.4	.	2.8	7.5	1.0	.
胃の悪性新生物 (再掲)	20.2	16.0	4.2	.	0.3	0.8	0.1	.
大腸の悪性新生物 (再掲)	20.8	18.0	2.9	.	0.3	0.9	0.1	.
肝及び胆管内胆管の悪性新生物 (再掲)	6.9	4.8	2.1	.	0.1	0.2	0.1	.
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	10.1	8.6	1.4	.	0.2	0.4	0.0	.
III 血液及び造血器系の疾患並びに免疫機構の障害	27.0	12.0	15.0	.	0.4	0.6	0.4	.
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	359.5	151.9	207.6	.	5.5	7.8	6.1	.
糖尿病 (再掲)	185.8	89.7	96.1	.	2.9	4.6	2.8	.
V 精神及び行動の障害	200.3	107.8	92.5	.	3.1	5.5	2.7	.
血管性及び詳細不明の痴呆 (再掲)	11.0	4.9	6.1	.	0.2	0.3	0.2	.
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害 (再掲)	56.5	44.5	12.1	.	0.9	2.3	0.4	.
VI 神経系の疾患	119.3	67.6	51.7	.	1.8	3.5	1.5	.
VII 眼及び付属器の疾患	306.3	85.8	220.5	.	4.7	4.4	6.5	.
VIII 耳及び乳様突起の疾患	101.7	22.5	79.2	.	1.6	1.2	2.3	.
IX 循環器系の疾患	897.0	315.5	581.5	.	13.8	16.2	17.2	.
高血圧性疾患 (再掲)	593.9	145.0	448.9	.	9.2	7.4	13.3	.
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	140.8	76.8	64.0	.	2.2	3.9	1.9	.
脳血管疾患 (再掲)	123.5	72.5	51.0	.	1.9	3.7	1.5	.
X 呼吸器系の疾患	717.9	161.6	556.3	.	11.1	8.3	16.5	.
喘息 (再掲)	141.2	48.9	92.3	.	2.2	2.5	2.7	.
XI 消化器系の疾患	1 211.5	150.2	175.3	886.0	18.7	7.7	5.2	77.2
歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	887.3	27.4	3.0	856.9	13.7	1.4	0.1	74.6
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	175.5	63.6	111.8	.	2.7	3.3	3.3	.
肝疾患 (再掲)	54.4	23.6	30.8	.	0.8	1.2	0.9	.
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	220.4	61.3	159.1	.	3.4	3.1	4.7	.
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	883.0	245.1	637.9	.	13.6	12.6	18.9	.
XIV 尿路器系の疾患	222.8	111.6	111.2	.	3.4	5.7	3.3	.
XV 妊娠、分娩及び産じょく	18.0	8.7	9.3	.	0.3	0.4	0.3	.
XVI 周産期に発生した病態	2.2	1.8	0.4	.	0.0	0.1	0.0	.
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	9.9	8.2	1.7	.	0.2	0.4	0.1	.
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	65.9	36.4	29.5	.	1.0	1.9	0.9	.
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	282.2	127.0	153.2	2.1	4.4	6.5	4.5	0.2
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	434.3	57.5	116.9	259.8	6.7	2.9	3.5	22.6
歯の補てつ (再掲)	246.7	5.6	0.6	240.5	3.8	0.3	0.0	20.9

(3) 病床の種類別

入院患者を病床の種類別にみると、病院では一般病床等 75 万 6 千人、精神病床 32 万 1 千人、療養病床 27 万 2 千人の順となっており、一般診療所ではその他の病床 5 万 7 千人、療養病床 1 万 6 千人となっている。

これを傷病分類別にみると、病院の一般病床等では「II 新生物」15 万 6 千人（一般病床患者の 20.6%）、「IX 循環器系の疾患」13 万 6 千人（同 18.0%）、療養病床では「IX 循環器系の疾患」14 万 7 千人（療養病床患者の 54.1%）、「XX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」2 万 4 千人（同 8.8%）などが多く、一般診療所のその他の病床では「IX 循環器系の疾患」9 千人（その他の病床患者の 14.8%）、「XV 妊娠、分娩及び産じょく」及び「XX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」7 千人（同 12.7%）、療養病床では「IX 循環器系の疾患」6 千人（療養病床患者の 34.8%）、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」2 千人（同 14.9%）などが多い。

(表 4)

表 4 傷病分類別にみた病床の種類別推計入院患者数

平成14年10月

傷病分類	総数	病院							一般診療所		
		精神 病床	感染症 病床	結核 病床	老人 病床	療養 病床	一般 病床等	療養 病床	その 他の 病床		
総数	1 451.0	1 377.6	320.9	0.1	8.1	20.9	271.8	755.6	73.4	16.1	57.3
I 感染症及び寄生虫症	31.6	30.3	0.6	0.1	7.3	0.2	2.0	20.2	1.3	0.1	1.2
結核 (再掲)	8.4	8.4	0.1	0.0	7.0	0.0	0.2	1.1	0.1	0.0	0.0
ウイルス肝炎	6.1	5.6	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	5.1	0.5	0.1	0.4
II 新生物	166.5	163.6	0.2	0.0	0.1	0.7	6.6	156.0	2.9	0.3	2.6
胃の悪性新生物 (再掲)	20.0	19.6	0.0	-	0.0	0.1	0.9	18.6	0.3	0.0	0.3
大腸の悪性新生物 (再掲)	18.5	18.2	0.0	-	0.0	0.1	0.9	17.2	0.3	0.0	0.3
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	10.9	10.7	0.0	-	0.0	0.0	0.4	10.2	0.3	0.0	0.2
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	19.0	18.8	0.0	0.0	0.1	0.1	0.6	18.0	0.2	0.0	0.2
III 血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	5.8	5.4	0.0	-	0.0	0.0	0.6	4.7	0.4	0.0	0.3
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	42.6	39.7	0.3	0.0	0.0	0.8	9.2	29.3	2.9	0.7	2.2
糖尿病 (再掲)	34.1	31.6	0.1	0.0	0.0	0.7	8.1	22.7	2.5	0.6	1.9
V 精神及び行動の障害	328.8	326.2	295.7	0.0	0.0	1.8	20.2	8.6	2.5	1.3	1.3
血管性及び詳細不明の痴呆 (再掲)	53.6	52.9	32.8	-	0.0	1.5	17.0	1.6	0.8	0.5	0.3
精神分裂病、分裂病、統合失調症 及び妄想性障害 (再掲)	203.2	202.9	201.2	0.0	-	0.1	0.9	0.7	0.3	0.1	0.2
VI 神経系の疾患	84.2	81.2	17.4	-	0.0	1.9	21.6	40.2	3.1	0.9	2.2
VII 眼及び付属器の疾患	14.7	12.2	0.0	-	-	0.0	0.2	12.0	2.5	0.1	2.4
VIII 耳及び乳突突起の疾患	3.3	3.0	0.0	-	-	0.0	0.2	2.8	0.3	0.1	0.2
IX 循環器系の疾患	312.9	298.8	4.1	0.0	0.1	11.6	147.1	135.8	14.1	5.6	8.5
高血圧性疾患 (再掲)	13.7	11.5	0.0	-	0.0	0.4	5.3	5.7	2.2	0.8	1.3
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	59.4	56.4	0.1	0.0	0.0	1.1	13.2	42.0	3.0	0.9	2.2
脳血管疾患 (再掲)	226.7	218.6	3.9	0.0	0.1	10.0	127.1	77.5	8.1	3.8	4.3
X 呼吸器系の疾患	72.0	68.4	0.1	0.0	0.4	0.7	7.1	60.2	3.6	0.6	3.0
喘息 (再掲)	11.6	10.8	0.0	0.0	0.0	0.1	1.2	9.4	0.8	0.1	0.7
XI 消化器系の疾患	75.4	70.6	0.3	0.0	0.0	0.5	5.0	64.8	4.7	0.5	4.2
歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	0.9	0.9	0.1	-	-	-	0.0	0.8	0.0	-	0.0
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	13.7	12.4	0.0	-	-	0.1	1.3	10.9	1.3	0.2	1.1
肝疾患 (再掲)	15.1	13.9	0.0	-	0.0	0.2	1.8	11.9	1.2	0.2	0.9
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	8.6	8.3	0.0	-	-	0.1	0.7	7.5	0.3	0.0	0.3
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	70.6	62.3	0.1	0.0	0.0	0.9	16.0	45.2	8.3	2.4	5.9
XIV 尿路系疾患	46.9	41.2	0.1	0.0	0.0	0.4	6.1	34.7	5.7	1.0	4.7
XV 妊娠、分娩及び産じょく	24.1	16.8	0.0	-	-	0.0	0.0	16.7	7.4	0.1	7.3
XVI 周産期に発生した病態	6.3	6.0	0.0	-	-	-	0.0	5.9	0.3	-	0.3
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	6.2	6.2	0.2	-	-	0.0	0.3	5.6	0.1	0.0	0.1
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	21.3	20.5	0.6	0.0	0.0	0.2	3.5	16.1	0.8	0.2	0.6
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	118.6	109.2	1.3	0.0	0.0	1.2	24.0	82.8	9.4	2.1	7.3
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用 歯の補てつ (再掲)	10.4	7.6	0.0	-	-	0.0	1.2	6.5	2.8	0.0	2.7
	0.0	0.0	-	-	-	-	-	0.0	-	-	-

(4) 在宅医療の状況

調査日に在宅医療を受けた推計患者数は、7万2千人であり、これを施設の種別別にみると、病院は1万2千人、一般診療所は4万5千人、歯科診療所は1万5千人となっており、その内訳は、往診2万2千人、訪問診療3万8千人、医師・歯科医師以外の訪問1万2千人となっている。

在宅医療の種別別にみると、病院では往診4千人、訪問診療6千人、一般診療所では往診1万8千人、訪問診療2万5千人であり、歯科診療所では訪問診療7千人である。

年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれて在宅医療を受ける割合が増加し、65歳以上の外来患者271万3千人の2.3%（6万3千人）が在宅医療を受けている。また、在宅医療を受けている患者の87.7%が65歳以上である。（表5）

表5 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計患者数

(単位：千人) 平成14年10月

	(総 数)				(病 院)				(一 般 診 療 所)				(歯 科 診 療 所)		
	在宅医療	往診	訪問診療	医師・ 歯科医師 以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・ 歯科医師 以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・ 歯科医師 以外の訪問	在宅医療	訪問診療	歯科医師 以外の訪問
総 数	71.7	21.9	37.6	12.1	11.6	3.5	5.7	2.3	45.0	18.4	24.5	2.2	15.0	7.4	7.6
0～14歳	0.5	0.3	0.2	0.0	0.1	0.1	-	0.0	0.3	0.3	0.0	-	0.2	0.2	-
15～34	2.7	0.7	0.4	1.6	0.4	0.3	0.0	0.1	0.5	0.4	0.1	0.0	1.7	0.2	1.5
35～64	5.3	2.1	2.1	1.1	1.7	0.8	0.5	0.4	2.4	1.3	1.1	0.1	1.2	0.6	0.6
65歳以上	62.9	18.8	34.7	9.5	9.4	2.4	5.2	1.9	41.7	16.4	23.2	2.1	11.8	6.3	5.5
(再掲)															
70歳以上	58.9	17.4	32.3	9.1	8.8	2.1	5.0	1.7	39.5	15.3	22.2	2.0	10.6	5.2	5.4
75歳以上	52.6	15.4	29.0	8.3	7.6	1.7	4.5	1.4	35.4	13.6	20.0	1.7	9.7	4.5	5.2

注：1 総数には年齢不詳を含む。

2 「往診」とは、患者の求めに応じて患者に赴いて診療するものをいい、診療報酬では往診料を算定したものをいう。

3 「訪問診療」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難なものに対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師・歯科医師が訪問して診療を行うものをいう。

4 「医師・歯科医師以外の訪問」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難なものに対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師・歯科医師以外のものが訪問して実施されるものをいう。

(5) 紹介の状況

患者の紹介の状況をみると、入院患者で紹介のあった者は44.8%、外来患者で紹介のあった者は6.1%である。これを施設の種類別にみると、入院患者で紹介のあった者は、病院45.8%、一般診療所25.7%で、外来患者で紹介のあった者は、病院8.1%、一般診療所5.0%である。

紹介のあった者の紹介元としては、病院の入院患者では「病院から」61.4%、「一般診療所から」17.1%、「介護老人保健施設から」4.8%、「介護老人福祉施設から」2.3%となっており、一般診療所の入院患者では、「病院から」61.3%、「一般診療所から」21.1%、「介護老人保健施設から」6.7%、「介護老人福祉施設から」2.4%となっている。

また、病院の外来患者では、「病院から」41.4%、「一般診療所から」35.5%、「歯科診療所から」2.8%、「介護老人保健施設から」及び「介護老人福祉施設から」1.1%となっており、一般診療所の外来患者では「病院から」47.5%、「一般診療所から」20.9%、「介護老人保健施設から」1.5%、「介護老人福祉施設から」3.2%となっている。(表6)

表6 施設の種類別にみた紹介あり患者の状況

平成14年10月

	総数 推計患者数 (千人)	紹介あり 推計患者数 (千人)	(紹介元)						
			構成割合 (%)	病院から	一般 診療所 から	歯科 診療所 から	介護老人 保健施設 から	介護老人 福祉施設 から	その他 から
入院	1 451.0	649.6 (44.8%)	100.0	61.4	17.2	0.1	4.9	2.3	14.1
病院	1 377.6	630.7 (45.8%)	100.0	61.4	17.1	0.1	4.8	2.3	14.3
一般診療所	73.4	18.9 (25.7%)	100.0	61.3	21.1	0.2	6.7	2.4	8.3
外来	5 330.1	326.0 (6.1%)	100.0	44.5	28.0	1.5	1.3	2.2	22.5
病院	1 952.5	157.5 (8.1%)	100.0	41.4	35.5	2.8	1.1	1.1	18.1
一般診療所	3 377.6	168.5 (5.0%)	100.0	47.5	20.9	0.3	1.5	3.2	26.6

- 注：1 ()内は推計患者数のうち、紹介のあった者の割合である。
 2 「病院から」とは、病院の医師・歯科医師の紹介によるものをいう。
 3 「一般診療所から」とは、一般診療所の医師・歯科医師の紹介によるものをいう。
 4 「歯科診療所から」とは、歯科診療所の医師・歯科医師の紹介によるものをいう。
 5 「介護老人保健施設から」とは、介護老人保健施設の医師・歯科医師の紹介によるものをいう。
 6 「介護老人福祉施設から」とは、介護老人福祉施設の医師・歯科医師の紹介によるものをいう。
 7 「その他から」とは、紹介があるが、上記施設以外からの場合をいう(医師・歯科医師以外の紹介及び院内紹介が含まれる。)

(6) 都道府県別にみた推計流入・流出患者の状況

全国では、入院患者の5.8% (8万4千人)、外来患者の2.9% (18万7千人) が患者の住所地 (都道府県) と異なる施設所在地 (都道府県) の医療施設を利用している。

(表7、統計表5)

表7 都道府県別にみた推計流入・流出患者数及び割合

平成14年10月

	推計患者数(千人)				推計患者数に対する割合(%)			
	入院		外来		入院		外来	
	推計流入患者数	推計流出患者数	推計流入患者数	推計流出患者数	推計流入患者割合	推計流出患者割合	推計流入患者割合	推計流出患者割合
総数	84.1	84.1	187.3	187.3	5.8	5.8	2.9	2.9
北海道	0.4	0.3	0.5	3.9	0.4	0.3	0.2	1.3
青森	0.5	0.4	1.1	0.7	2.8	2.3	1.2	0.8
岩手	0.7	0.8	0.5	1.6	3.9	4.2	0.8	2.3
宮城	0.9	0.6	1.5	0.9	4.1	2.8	1.3	0.8
秋田	0.3	0.4	0.7	0.3	2.0	2.5	1.0	0.4
山形	0.2	0.4	0.4	0.2	1.7	2.9	0.6	0.3
福島	0.7	0.7	0.9	1.0	2.9	2.9	0.9	1.0
茨城	2.0	2.4	3.2	8.2	7.5	8.7	2.9	7.2
栃木	1.4	1.1	4.1	3.4	7.2	5.5	4.3	3.6
群馬	1.6	0.9	3.2	1.7	6.9	4.2	3.4	1.8
埼玉県	7.1	8.3	5.9	32.4	13.5	15.4	2.1	10.7
千葉県	6.7	4.2	8.4	20.7	14.2	9.5	3.2	7.6
東京都	15.1	17.4	79.8	17.4	13.9	15.7	11.1	2.7
神奈川県	5.4	6.9	8.5	27.8	8.5	10.6	2.4	7.6
新潟県	0.4	0.5	0.4	0.6	1.5	1.8	0.3	0.5
富山県	0.5	0.4	0.5	0.5	3.0	2.4	0.9	0.8
石川県	0.7	0.3	0.6	0.4	3.7	1.5	0.9	0.6
福井県	0.2	0.5	0.2	0.3	1.8	4.1	0.4	0.8
山梨県	0.8	0.6	0.5	1.0	8.7	6.8	1.5	2.8
長野県	0.6	0.6	0.7	1.1	3.0	2.7	0.7	1.1
岐阜県	0.8	2.0	2.1	2.5	4.5	10.1	1.9	2.3
静岡県	2.1	1.2	1.3	1.6	6.2	3.7	0.7	0.9
愛知県	3.0	1.8	3.8	2.2	4.7	3.0	1.1	0.7
三重県	0.8	1.0	1.3	2.3	4.2	5.4	1.5	2.6
滋賀県	0.7	1.0	0.9	2.0	5.5	8.1	1.6	3.6
京都市	3.1	1.5	5.6	4.9	9.9	5.0	4.3	3.8
大阪府	5.6	5.1	18.5	7.1	6.1	5.7	3.6	1.4
兵庫県	2.7	4.3	3.9	10.1	5.0	7.6	1.4	3.5
奈良県	1.1	1.5	2.8	6.9	8.1	11.4	4.6	10.7
和歌山県	0.7	0.9	1.4	1.0	5.5	7.3	2.7	1.8
鳥取県	0.6	0.3	1.2	0.2	7.4	3.4	4.0	0.9
島根県	0.4	0.8	0.5	1.3	4.0	7.1	1.1	3.0
岡山県	1.3	0.7	1.2	1.5	4.9	2.8	1.2	1.5
広島県	1.6	1.2	3.2	1.3	4.3	3.3	1.8	0.7
山形県	0.7	1.3	0.7	1.2	2.5	4.7	0.9	1.5
徳島県	0.9	0.4	0.4	0.4	5.9	2.5	1.0	0.8
香川県	0.5	0.5	0.6	0.6	3.4	3.4	1.0	1.0
愛媛県	0.4	0.7	0.5	1.3	1.8	3.2	0.6	1.5
高知県	0.3	0.3	0.2	0.3	1.5	1.9	0.4	0.6
福岡県	4.2	2.7	7.1	3.7	5.1	3.3	2.5	1.3
佐賀県	1.6	1.7	1.3	3.6	10.5	10.8	2.4	6.4
長門県	0.7	1.2	0.6	0.7	2.5	4.2	0.7	0.7
熊本県	1.3	0.8	1.9	1.2	3.7	2.4	1.7	1.1
大分県	1.1	1.1	1.3	1.7	5.0	5.1	2.1	2.7
宮崎県	0.8	0.8	2.5	0.6	4.5	4.2	3.6	0.9
鹿児島県	0.7	1.3	0.8	2.8	1.9	3.7	0.8	2.8
沖縄県	0.1	0.1	0.2	0.4	0.7	0.6	0.5	0.9

- 注：1 推計流入患者数 = 当該県内の医療施設で受療した当該県外に居住する推計患者数
 2 推計流出患者数 = 当該県外の医療施設で受療した当該県内に居住する推計患者数
 3 推計流入患者割合 = $\frac{\text{当該県内の医療施設で受療した当該県外に居住する推計患者数}}{\text{当該県内の医療施設で受療した推計患者数 (住所不詳を除く)}} \times 100$
 4 推計流出患者割合 = $\frac{\text{当該県外の医療施設で受療した当該県内に居住する推計患者数}}{\text{当該県内に居住する推計患者数}} \times 100$